※令和４年度以降入学生用

学校番号	102

令和８年度　国際文化科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
学国際文化	（学）イタリア語文化Ⅱ	2	3	白水社　Un piatto d'italiano ベレ出版　しっかり学ぶ イタリア語

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

イタリア語文化Ⅱでは　日常生活を表現するために覚える動詞を増やします。さらに過去形・助動詞も学び、日常会話の幅を広げます。
1学期では　規則動詞の ire 動詞、および不規則動詞の andare,venire を学びます。それと同時にそれらの動詞を使うに当たり、必要で身近な単語も学びます。
2学期では　直説法近過去（avere をとるもの）と直接法近過去（essere をとるもの）を学び、日常生活の表現の幅を広げます。助動詞 volere,dovere,potere を学び、心情も表現できるようにします。
3学期は　2年間学んだ単語や表現を使い、双六を作成します。

2　学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・事物に関する紹介や日常生活の行動を聞いて，内容をとらえることができる。 ・リズムやイントネーションなどのイタリア語の音声的な特徴に注意しながら聞くことができる。	・説明や日常生活の行動を読んで内容をとらえることができる。 ・リズムやイントネーションなどのイタリア語の音声的な特徴に注意しながら読むことができる。	・聞いたり読んだりしたこと，学んだことに基づき、日常生活の対話ができる。 ・リズムやイントネーションなどのイタリア語の音声的な特徴，話す速度，声の大きさなどに注意しながら話すことができる。	・簡単な語句や文を用いて自分のことを紹介できる ・身近な人や自分の生活行動について話すことができる。 ・リズムやイントネーションなどのイタリア語の音声的な特徴，話す速度，声の大きさなどに注意しながら話すことができる。	・聞いたり読んだりしたこと，学んだことについて，書くことができる。 ・イタリア語の特徴的なつづりや文字に注意して書くことができる。

3　学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	学んだ日常行動表現の知識を身に着けている。 イタリア語の　基本的な動詞の変化や単語を覚えている。	学んだ日常表現の知識を使って、主語が変化しても対応できる。 基本的な単語のまとまりが表現できる。	新しく出てきた動詞の変化や単語をしっかり発音練習をして、身につけようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	Unitá4 Ire 動詞 第 15 課 Ire 動詞	聞くこと	a: イタリア語の音声の特徴を理解している。 b: 身近な話題（日常行動や好み）についての会話を聞いて、必要な情報を聞き取っている。 c: 身近な話題（日常行動や好み）についての会話を聞いて、必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業観察
		読むこと	a: 文の内容を理解しながら読むことができる。 b: 身近な話題（日常行動や好み）に関するイタリア語で書かれた文章を読み、内容を理解することができる。 c: 身近な話題（日常行動や好み）に関するイタリア語で書かれた文章を読み、内容を理解しようとしている。	定期考査
		話すこと （発表）	a: 日常行動や好みに関する動詞や基本的な単語を使って、話すことができる。 b: 日常行動や好みについて、まとまった語句や動詞を的確に変化させて話している。 c: 日常行動や好みについて、基本的な単語や動詞を変化させて話そうとしている。	授業観察
		書くこと	a: 日常行動や好みを伝えるために必要な単語を書くことができる。 b: 日常行動や好みについてまとまった語句や動詞を的確に活用して書いている。 c: 日常行動や好みについて基本的な語句や動詞を用いて書こうとしている。	小テスト 定期考査
	中間考査			
	Unitá6 不規則動詞 Andare Venire 第１９課 不規則動詞 （２） 場所の移動などを表す動詞	聞くこと	a: andare,venire の活用を聞いて理解している。行く場所や手段などの単語を聞いて理解している。 b: 日常的な話題（行く・来る）に関する会話を聞き、話の内容を理解している。 c: 日常的な話題（行く・来る）に関する会話を聞き、話の内容を理解しようとしている。	授業観察
		読むこと	a: andare,venire の活用した文を読んで、だれのことか理解できる。 b: 日常的な話題（行く・来る）に関する文を読み、具体的に誰がどこへどうやってなどを理解している。 c: 日常的な話題（行く・来る）に関する文を読み、具体的に誰がどこにどうやってなどを理解しようとしている。	定期考査
		話すこと （やり取り）	a: andare,venire を活用できる。場所や乗り物の単語を話すことができる。 b: 日常的な話題（行く・来る）に関して、場所や手段を伝えるやりとりができる。 c: 日常的な話題（行く・来る）に関して、場所や手段を伝えようとしている。	授業観察
		書くこと	a: andare,venire の活用を書くことができる。場所や乗り物の単語が書ける。 b: 日常的な話題（行く・来る）について、場所や手段をつけて書くことができる。。 c: 日常的な話題（行く・来る）について、場所や手段をつけて書こうとしている。	小テスト 定期考査
	期末考査			
2	Unitá8 近過去 第２４課 近過去	聞くこと	a:現在形か過去形か、聞いて理解できる。 b: 身近な会話（日常の行動）について、過去形で語られていることを聞いて理解できる。 c: 身近な会話（日常の行動）について、過去形で語られていることを理解しようとしている。	授業観察
		読むこと	a: 過去形で書かれていることを読んで、過去形と理解できる。 b: 過去形で書かれている日常の行動を読んで、内容を理解できる。 c: 過去形で書かれている日常の行動を読んで、内容を理解しようとしている。	定期考査
		話すこと （やり取り）	a: 過去形の作り方を理解している。 b: 今までに学んだ動詞を使って、過去のことを話せる。 c: 今までに学んだ動詞を使って、過去のことを話そうとしている。	授業観察

※令和４年度以降入学生用

2		書くこと	a: 過去形の文法を理解し、書くことができる。 b: 今までに学んだ動詞を使って、過去のことを書くことができる。 c: 今までに学んだ動詞を使って、過去のことを書こうとしている。	小テスト 定期考査
	中間考査			
	Unitá7 補助動詞 第１８課 不規則動詞 （1） 従属動詞	聞くこと	a: volere,dovere,potere の活用を聞き取ることができる。 b: volere,dovere,potere が使われていることを聞き取り、心情を理解することができる。 c: volere,dovere,potere が使われていることを聞き取り、心情を理解しようと している。	授業観察
		読むこと	a: volere,dovere,potere が入っている文章を読み、活用形から誰のことか理解している。 b: volere,dovere,potere と今までに学んだ動詞の組み合わせを読み、内容を理解している。 c: volere,dovere,potere と今までに学んだ動詞の組み合わせを読み、内容を理解しようとしている。	定期考査
		話すこと （発表）	a: volere,dovere,potere を活用して、家族や自分の簡単な心情を話せる。 b: volere,dovere,potere と、今まで学んだ動詞を使って、日常の行動や心情を話せる。 c: volere,dovere,potere と、今まで学んだ動詞を使って、日常の行動や心情を話そうとしている。	授業観察
		書くこと	a: volere,dovere,potere を活用して、正しく書くことができる。 b: volere,dovere,potere と、今まで学んだ動詞を使って、日常の行動や心情を書くことができる。 c: volere,dovere,potere と、今まで学んだ動詞を使って、日常の行動や心情を書こうとしている。	小テスト 定期考査
	期末考査			
3		聞くこと	a: ゲームを通して、人の回答を聞き取る b: ゲームを通して、人の回答が合っているか判断できる。 c: ゲームの中で、人の回答を聞き取り、合っているか判断しようとしている。	授業観察
		読むこと	a: ゲームの中に書かれている単語や文章が読める。 b: ゲームの中に書かれている単語や文章を読んで、内容を理解している。 c: ゲームの中に書かれている単語や文章を読んで、内容を理解しようとしている。	授業観察
		話すこと （やり取り）	a: ゲームの中に指示されている単語や文章を話すことができる。 今まで学んだ単語を使って、簡単は質問のやり取りができる。 b: ゲームの中に指示されている単語や文章を　イタリア語の発音に気をつけながら、話すことができる。 今まで学んだ単語や文法を使って、行動や心情などを話したり、質問したりできる。 c: ゲームの中に指示されている単語や文章を　イタリア語の発音に気をつけて話そうとしている。 今まで学んだ単語や文法を使って、行動や心情を話したり、質問したりしようとしている	対話テスト
		書くこと	a: ゲームの中に　今までに学んだ単語や文章の簡単な質問を書くことができる。 b: ゲームの中に　今まで学んだ単語や文法を使って、少し難しい問題を書くことができる。 c: ゲームの中に　今まで学んだ単語や文法を使って、問題を書こうとしている。	授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度